

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成28年5月12日 (2016.5.12)

【公開番号】特開2014-182701(P2014-182701A)

【公開日】平成26年9月29日 (2014.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2014-053

【出願番号】特願2013-57831(P2013-57831)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

G 0 6 Q 40/04 (2012.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 3 4 0 A

G 0 6 F 17/30 1 7 0 Z

G 0 6 F 17/30 3 2 0 D

G 0 6 Q 40/04 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月16日 (2016.3.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

株式銘柄に関する属性情報を記憶する第 1 の記憶手段と、

利用者に関する情報を取得する取得手段と、

前記利用者に関する情報に含まれる第 1 の単語を、類義語または派生語に展開し、第 2 の単語とする展開手段と、

前記利用者に関する情報に含まれる場所に関する単語から第 1 の位置情報を分析する位置情報分析手段と、

前記第 1 の単語、前記第 2 の単語、および前記第 1 の位置情報に基づいて、前記第 1 の記憶手段に記憶されている前記属性情報とのマッチングを行い、マッチした前記株式銘柄を推薦する推薦手段と、

を備えることを特徴とする株式銘柄推薦装置。

【請求項 2】

前記株式銘柄に関する属性情報は、株主優待情報、前記株式銘柄が所有する製品情報、前記株式銘柄が所有するサービス情報のうち、少なくとも 1 つを含む

ことを特徴とする請求項 1 に記載の株式銘柄推薦装置。

【請求項 3】

前記推薦手段により推薦された前記株式銘柄の推薦度に対し、重み付けを行う重み付け手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項 1 に記載の株式銘柄推薦装置。

【請求項 4】

前記推薦手段により推薦された前記株式銘柄、前記重み付け手段により重み付けされた前記推薦度、および、前記推薦手段により推薦された要因を示す情報の表示を制御する表示制御手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項 3 に記載の株式銘柄推薦装置。

【請求項 5】

複数の前記第 1 の位置情報を結ぶ経路上から、第 2 の位置情報を分析する経路分析手段をさらに備え、

前記推薦手段は、前記第 2 の位置情報に基づいて、前記第 1 の記憶手段に記憶されている前記属性情報とのマッチングをさらに行う

ことを特徴とする請求項 1 に記載の株式銘柄推薦装置。

【請求項 6】

前記利用者に関する情報および、前記推薦手段により推薦された前記株式銘柄を紐付けて記憶する第 2 の記憶手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項 1 に記載の株式銘柄推薦装置。

【請求項 7】

前記推薦手段は、前記第 1 の記憶手段および前記第 2 の記憶手段に記憶されている情報に基づいて、前記株式銘柄に関する属性情報をさらに推薦する

ことを特徴とする請求項 6 に記載の株式銘柄推薦装置。

【請求項 8】

株式銘柄に関する属性情報を記憶する記憶手段を備えたコンピュータによる株式銘柄推薦方法であって、

利用者に関する情報を取得する取得ステップと、

前記利用者に関する情報に含まれる第 1 の単語を、類義語または派生語に展開し、第 2 の単語とする展開ステップと、

前記利用者に関する情報に含まれる場所に関する単語から位置情報を分析する位置情報分析ステップと、

前記第 1 の単語、前記第 2 の単語、および前記位置情報に基づいて、前記記憶手段に記憶されている前記属性情報とのマッチングを行い、マッチした前記株式銘柄を推薦する推薦ステップと、

を含むことを特徴とする株式銘柄推薦方法。

【請求項 9】

コンピュータを、

株式銘柄に関する属性情報を記憶する記憶手段、

利用者に関する情報を取得する取得手段、

前記利用者に関する情報に含まれる第 1 の単語を、類義語または派生語に展開し、第 2 の単語とする展開手段、

前記利用者に関する情報に含まれる場所に関する単語から位置情報を分析する位置情報分析手段、

前記第 1 の単語、前記第 2 の単語、および前記位置情報に基づいて、前記記憶手段に記憶されている前記属性情報とのマッチングを行い、マッチした前記株式銘柄を推薦する推薦手段、

を備える株式銘柄推薦装置として機能させるためのプログラム。

【請求項 10】

サーバと端末とがネットワークを介して接続される株式銘柄推薦システムであって、

前記サーバは、

株式銘柄に関する属性情報を記憶する記憶手段と、

前記端末から送信されてきた、利用者に関する情報を受信する受信手段と、

前記利用者に関する情報に含まれる第 1 の単語を、類義語または派生語に展開し、第 2 の単語とする展開手段と、

前記利用者に関する情報に含まれる場所に関する単語から位置情報を分析する位置情報分析手段と、

前記第 1 の単語、前記第 2 の単語、および前記位置情報に基づいて、前記記憶手段に記憶されている前記属性情報とのマッチングを行い、マッチした前記株式銘柄を推薦する推薦手段と、を備え、

前記端末は、

前記利用者に関する情報を入力する入力手段と、

前記利用者に関する情報を前記サーバに送信し、前記利用者に関する情報に基づいて前記サーバの前記推薦手段により推薦された前記株式銘柄を受信し、表示する表示手段と、を備える

ことを特徴とする株式銘柄推薦システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明は、前述した問題点に鑑みてなされたもので、その目的とすることは、利用者に関する情報に基づいて、利用者にとって保有意義のある株式銘柄を推薦することが可能な株式銘柄推薦装置等を提供することである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

前述した目的を達成するために、第1の発明は、株式銘柄に関する属性情報を記憶する第1の記憶手段と、利用者に関する情報を取得する取得手段と、前記利用者に関する情報に含まれる第1の単語を、類義語または派生語に展開し、第2の単語とする展開手段と、前記利用者に関する情報に含まれる場所に関する単語から第1の位置情報を分析する位置情報分析手段と、前記第1の単語、前記第2の単語、および前記第1の位置情報に基づいて、前記第1の記憶手段に記憶されている前記属性情報とのマッチングを行い、マッチした前記株式銘柄を推薦する推薦手段と、を備えることを特徴とする株式銘柄推薦装置である。

第1の発明によって、利用者に関する情報に合った株式銘柄を推薦することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

前記利用者に関する情報および、前記推薦手段により推薦された前記株式銘柄を紐付けて記憶する第2の記憶手段をさらに備える。

これにより、利用者に関する情報および推薦した株式銘柄を管理し、のちのマーケティングにつなげることができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

第2の発明は、株式銘柄に関する属性情報を記憶する記憶手段を備えたコンピュータによる株式銘柄推薦方法であって、利用者に関する情報を取得する取得ステップと、前記利用者に関する情報に含まれる第1の単語を、類義語または派生語に展開し、第2の単語とする展開ステップと、前記利用者に関する情報に含まれる場所に関する単語から位置情報を分析する位置情報分析ステップと、前記第1の単語、前記第2の単語、および前記位置

情報に基づいて、前記記憶手段に記憶されている前記属性情報とのマッチングを行い、マッチした前記株式銘柄を推薦する推薦ステップと、を含むことを特徴とする株式銘柄推薦方法である。

第2の発明によって、利用者に関する情報に合った株式銘柄を推薦することができる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

第3の発明は、コンピュータを、株式銘柄に関する属性情報を記憶する記憶手段、利用者に関する情報を取得する取得手段、前記利用者に関する情報に含まれる第1の単語を、類義語または派生語に展開し、第2の単語とする展開手段、前記利用者に関する情報に含まれる場所に関する単語から位置情報を分析する位置情報分析手段、前記第1の単語、前記第2の単語、および前記位置情報に基づいて、前記記憶手段に記憶されている前記属性情報とのマッチングを行い、マッチした前記株式銘柄を推薦する推薦手段、を備える株式銘柄推薦装置として機能させるためのプログラムである。

第3の発明に係るプログラムをコンピュータにインストールすることで、第1の発明に係る株式銘柄推薦装置を得ることができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

第4の発明は、サーバと端末とがネットワークを介して接続される株式銘柄推薦システムであって、前記サーバは、株式銘柄に関する属性情報を記憶する記憶手段と、前記端末から送信されてきた、利用者に関する情報を受信する受信手段と、前記利用者に関する情報に含まれる第1の単語を、類義語または派生語に展開し、第2の単語とする展開手段と、前記利用者に関する情報に含まれる場所に関する単語から位置情報を分析する位置情報分析手段と、前記第1の単語、前記第2の単語、および前記位置情報に基づいて、前記記憶手段に記憶されている前記属性情報とのマッチングを行い、マッチした前記株式銘柄を推薦する推薦手段と、を備え、前記端末は、前記利用者に関する情報を入力する入力手段と、前記利用者に関する情報を前記サーバに送信し、前記利用者に関する情報に基づいて前記サーバの前記推薦手段により推薦された前記株式銘柄を受信し、表示する表示手段と、を備えることを特徴とする株式銘柄推薦システムである。

第4の発明によって、利用者に関する情報に合った株式銘柄を推薦することができる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

本発明により、利用者に関する情報に基づいて、利用者にとって保有意義のある株式銘柄を推薦することができる。